

PHPによる 機械学習入門

補足&コラム



株式会社リックテレコム／書籍出版 2 部

(最終情報更新日：2014 年 7 月 17 日)

このサイトでは、書籍「PHP による機械学習入門」には紙面の都合から載せられなかったコラムや、刊行後バージョンアップ等がなされた情報を掲載致します。

[コラム INDEX]

・ [クラウドサーバの使いどころ](#)

クラウドサーバの使いどころ

(2014.07.17)

学びing 株式会社

高橋 佑幸

書籍では学習のための開発環境として仮想マシンソフトウェアである Virtual Box を採用しました。基本的に無料で開発環境を構築できるため、読者の方のコスト負担を減らす上では最適な選択の一つだと思います。では、実際の開発業務やシステムの運用という現場では、どのような環境が使われているのでしょうか？最近では、クラウドサーバを利用するケースが増えています。特に、Amazon Web Services が圧倒的な市場シェアを占めています。

IT サービス系の企業に留まらず、業種の壁を越えてクラウドサーバの普及が広がっているのは、そのスピーディな構築が可能で、明確なコスト構成、システム構成の柔軟な変更というメリットがあるからでしょう。

例えば、大量のドキュメント（数百万～数億件）を常に自然言語処理や機械学習処理でさばく業務の場合、システムを構成するサーバの数も対応になります。物理的にサーバを構築するとなると、サーバ機を購入する費用、設置場所の確保、通信回線の月額費用など準備しなければならない要素が多岐にわたります。

サーバ機を注文して配送されるまで数週間、届いたサーバ機の梱包を開けて、設置する作業に数日、ネットワーク配線作業に数日、通信回線の開通まで数週間と、時間もかかります。

昨今において、ビジネス環境は目まぐるしいスピードで変化しています。時間がかかるということは、それだけでビジネス展開に取って致命的なダメージとなります。その点、クラウドサーバであればスピーディな構築が可能です。従来のアプローチと比べ、圧倒的に短い時間でサーバネットワークを構築することができます。また、サーバ機を購入する費用、通信回線の月額費用、設置場所の確保といった負担をユーザは気にしなくて済みます。

筆者が所属する学びing 株式会社は、黎明期の頃からクラウドサーバを扱ってきました。2008 年末には、日本人著者として初のクラウドコンピューティングの解説書『Amazon EC2/S3 クラウド入門』を執筆しました。現在、ビジネスの現場で使用しているサーバは、ほぼ全てが Amazon Web Services 上のクラウドサーバです。

多数のサーバを並べて分散処理をする場面では、クラウドサーバを手放すことができません。ビジネス展開にスピードを要求される時代になるほど、クラウドサーバはますます活躍するようになるでしょう。

<今後も追加していきます>

[INDEX に戻る](#)